

静岡県東部地域企業経営動向調査

(2017年1-3月期実績、2017年4-6月期見通し)

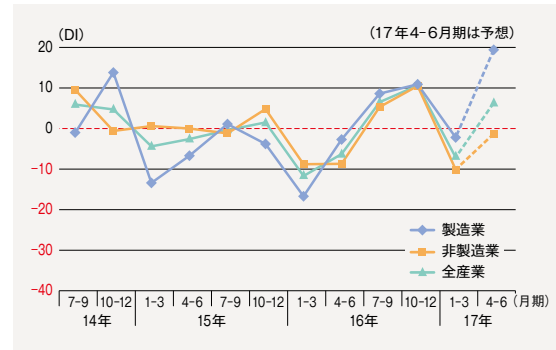
1 業況概要(自社)

DIは全産業で低下に転じる

静岡県東部地域における2017年1-3月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で-7.1(前期10.6)と前期までの上昇傾向から低下に転じた。製造業は、多くの業種でDIが低下したため、全体DIは-2.2(前期10.9)と低下した。一方、非製造業ではその他小売・サービス業等と建設業で低下したため、全体でも-10.1(前期10.5)となり、製造業・非製造業とも3期ぶりのマイナス水準になった。

2017年4-6月期の予想DI(今期比)は全産業で6.3と回復への期待感がみられる。業種別では製造業が19.4と大幅な回復、非製造業では-1.3となって

いる。



業種別天気図



(2016年10-12月期と2017年1-3月期は前期比、2017年4-6月期は今期比予想)

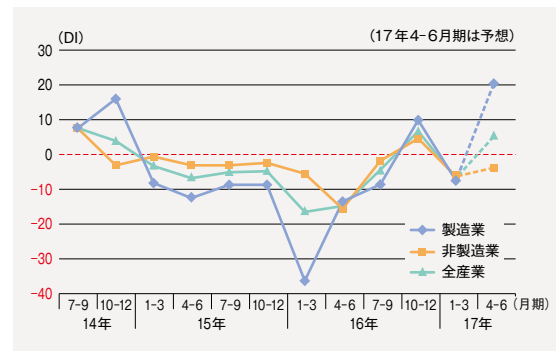
	製造業	食品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2016年10-12月期	☀️	☁️	☀️	☁️	☀️	☁️	☀️	☀️
2017年1-3月期	☁️	☁️	☔️	☁️	☔️	☔️	☀️	☁️
2017年4-6月期	☀️	☀️	☀️	☀️	☁️	☁️	☔️	☁️

2 売上動向

製造業、非製造業とも低下に転じ、マイナスの水準となる

2017年1-3月期の全産業の売上動向DI(対前期比)は-6.8(前期6.7)と低下に転じた。製造業ではパルプ・紙・紙加工品、食品などで低下したため、全体では-7.5(前期9.9)とマイナスの水準となった。また、非製造業も各業種でDIが低下したことから、全体では-6.3(前期4.6)と製造業と同様の動きを示している。

2017年4-6月期の予想DI(今期比)は、全産業で5.2となっている。ただし、業種別では製造業が20.4に対し、非製造業では-3.8となっている。



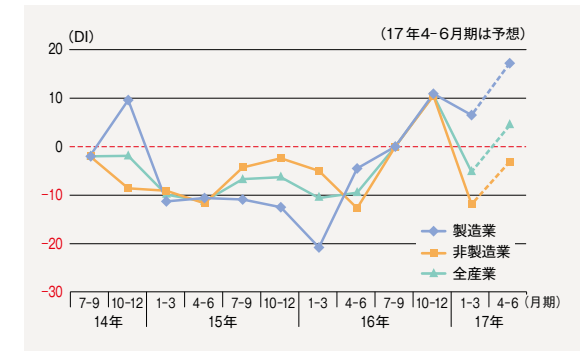
※今回より、分析対象とするDIを前年同期比から前期比に変更し、グラフ等も修正しています。

3 利益動向

製造業は低下もプラス水準維持、非製造業はマイナス水準に低下

2017年1-3月期の全産業の利益動向DI(対前期比)は-5.2(前期10.6)となり、売上動向DIと同じく低下に転じた。製造業ではパルプ・紙・紙加工品や食品の影響から全体では6.5(前期10.9)と低下するもプラスの水準は維持している。一方、非製造業ではその他小売・サービス業等と建設業で低下したことから、全体で-11.9(前期10.5)と製造業より大幅に低下しマイナス水準となっている。

2017年4-6月期の予想DI(今期比)は、全産業で4.4と今期比上昇に転じている。ただし、製造業で17.2に対し非製造業は-3.1と業種間の差異が目立っている。



※今回より、分析対象とするDIを前年同期比から前期比に変更し、グラフ等も修正しています。

4 経営上の問題点

「従業員の高齢化」「求人難」の回答割合が上昇

引き続き「人材の育成」「従業員の高齢化」「求人難」「人件費の増加」など従業員関連の項目が上位にある。うち、「従業員の高齢化」では回答割合が前

期比約5ポイント、「求人難」で同約4ポイントそれぞれ上昇している。また、「原材料・仕入商品の値上がり」も同約4ポイント上昇している。

(単位:社、%)

	16年7-9月期		16年10-12月期		17年1-3月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	150	54.5	127	50.0	121	48.0	→
2. 人材の育成	124	45.1	117	46.1	117	46.4	→
3. 従業員の高齢化	85	30.9	85	33.5	96	38.1	→
4. 求人難	78	28.4	78	30.7	88	34.9	→
5. 過当競争・製品安	83	30.2	71	28.0	63	25.0	→
6. 生産・販売能力の不足	52	18.9	53	20.9	57	22.6	↑
7. 原材料・仕入商品の値上がり	40	14.5	38	15.0	49	19.4	↑
8. 人件費の増加	54	19.6	60	23.6	48	19.0	↓

調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業 421社 回答数252(回答率59.9%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2017年1-3月期 見通し:2017年4-6月期
5. 調査時点 2017年2-3月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

調査結果は弊社ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。